

七ころび 八起き

第10号
平成25年
秋号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>

理念

- 1) 精神医療に携わることに自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品紹介



テイクア

参加者の作品

- ・左：陶芸作品
～箸置きと小皿～
- ・下：ビーズ作品
・ストラップ
・髪留め
・ブローチ



ミシ刺繍も
しています♪



「七ころび八起き」の役割は・・・

この広報誌「七ころび八起き」が創刊しまして早いもので2年程になってきました。それ以前より院内においては関係機関及び地域への情報発信が必要との意見は度々議論されていましたがなかなか纏まらなかった状況でした。現在は年4回の発刊し約200件の近隣医療機関、行政機関等に発信し各号毎に増えていっています。

また東加古川病院ホームページにもアップして創刊号からご覧いただけるようにしておりますのでお見落としのある方は是非一度ご覧下さい。その他広報誌の合間には職員を対象とした「院内だより」を年4回発刊し職員間の紹介・親睦を図るツールになっているので、広報誌に関わる職員は本来業務と並行して大変ですがやりがいを感じて頑張っています。

広報誌「七ころび八起き」は当初目的に沿って地域に理解され開かれた精神科の病院を目指して情報を発信していきますので、お手元に届きましたらご笑覧いただきご意見等もお待ちしております。最後になりましたが、最近は大変天候も不順な日が続きますのでご自愛いただきますように。



事務長 中田 喜景





院内トピックス

8月～



夏祭り～盆踊り～ 8月29日

8月29日の夕方より“夏祭り”が芝生グラウンドで開催されました。病棟では、数日前から天気への心配、楽しみにしている模擬店の話題でもちきりでした。手作りの“てるてる坊主”の姿も…。皆さんの願いが届いたのか、当日は心配していた天候にも恵まれました。威勢のいい太鼓に合わせて、お馴染みの“炭坑節”、懐かしの“ビューティフルサンデー”、ご当地ならではの“新加古川音頭”を輪になって踊りました。院長先生の参加に皆さん大喜びでした。模擬店、ゲームコーナー也大賑わい。普段コミュニケーションが苦手な方も、自然と笑顔がこぼれ、会話も弾んでいました。本年度初の試み“しゃぼん玉コーナー”では「懐かしい～」「子供の時以来やわ～」などの声があり、患者様、職員共に童心に返って大はしゃぎでした。終盤にかけては、初秋の心地よい風が吹きはじめ、全身で夏の終わり、秋の訪れを感じる事が出来ました。参加者の方から「今年も良かった」「心もお腹也大満足」など、多くの感想をいただきました。多職種が連携し大盛況で終える事が出来た本年度の夏祭り。皆様の良い思い出になったのではと感じています。



盆踊り風景



くじ大会



魚釣りゲーム



看護部 “看護研究発表会”



去る、8月9日、当院で「看護研究発表会」が行われました。各病棟が、それぞれ自分の病棟に起っている問題点に着目し、その問題点を改善する目的で取り組んだ研究を発表しました。

研究にまとめることで日頃の看護行為を振り返り、より良い看護を提供しようという意識に繋がっています。また、研究発表を聞くことで、他病棟で取り組んだことが、自分たちの病棟でも参考にできるなど得ることも多く学びの場になっています。

今回は、アンケート調査によるもの、転倒・転落防止を目的としたものが多くありました。その中で今年度は、認知症の患者様に本人の写真を用いて回想してもらうことで、発言が増え表情にも変化が見られるなどの効果があった男女混合閉鎖病棟の『認知症患者に対する個人回想法の効果』という研究を日本精神科看護技術協会兵庫県支部主催、看護研究発表会で発表することになりました。

院内や院外で看護の取り組みを発表することで、当院の看護の質を評価し、新しい看護実践を試み時代に即応し、かつ、患者様に満足していただける療養生活が送れるように日々努力しています。





当院では、毎年県内を中心とした学校から、看護師や作業療法士、精神保健福祉士等の実習生を受け入れております。その実習体験の生の声を一部紹介させていただきます。



兵庫大学 看護学科 16名

- ・多職種と連携して患者様ご自身の意向に基づきながら退院に向けて頑張っている姿勢を見て感動しました。
- ・精神科は暗いイメージを持っていましたが、実際の病棟内は明るく、イメージが変わりました。また、自立に向けていろいろな職種が関わっていることを知り、治療だけでなく、生活訓練の練習も患者様と共に行われており看護に対するイメージが変わりました。
- ・病棟の生活で、患者様がよりよく過ごすために看護師の方々が日々カンファレンスを行っており、全員で患者様の退院に向けて考えられているのだなと感じました。
- ・鍵のついている病棟（精神状態があまり良くない患者様がほかの人に危害を加えないため）や車イスが通りやすい病棟等があり、患者様の状況に応じた病棟があることを知りました。

兵庫大学 生涯福祉学部社会福祉学科 長岡さん（精神保健福祉士）

職員の皆様は患者様を第一に考えて支援されており、実習生の私にも丁寧に指導して下さいました。実際の支援とはどういうものなのかを教えてくださいました。この経験を生かして、皆様のようなソーシャルワーカーになれるように頑張ります。

神戸女子大学 健康福祉学部社会福祉学科 平島さん（精神保健福祉士）

実習を終えて感じたことは、自分のイメージしていた病院とは違い、病棟内が明るく、他職種との連携をとりながら、患者様 1人1人のことを考えていました。ソーシャルワーカーになれるように頑張ります。



医局コラム vol.9



「女心と秋の空」

医師 大村 夕美

「10月になっても暑い！」と思っていたのに、いつの間にか「寒い」と口にするようになっていました。「女心と秋の空」といいますが、時々わけもなくイライラする自分に気付いたりします。実はそれはホルモンの仕業なのです。女性の場合「エストロゲン」「プロゲステロン」「オキシトシン」「テストステロン」と実に4つのホルモンが気分に影響を与えます。エストロゲンは前向きで活動的に、プロゲステロンは冷静に、オキシトシンは穏やかにさせてくれ、テストステロンが増えるとイライラしやすくなります。周期的なホルモンバランスの変化が気分表れるのですが、男性の場合はテストステロンのみが気分に影響し、しかもほぼ一定量なので女性に比べ気分の変動が少ないのです。ちょっと不公平な気もしますが、イライラした時、落ち込んだ時等に今どのホルモンが私を動かしているのかなと考えると少し楽になります。女性の皆様、是非気分の変化を楽しみましょう☆





取 り 組 み



☆集団栄養指導教室☆

給食管理課

第1火曜日(午後)・金曜日(午前)に生活訓練センターにて、入院患者様対象に集団栄養指導教室(30分)を開催しています。それぞれに約25名、約80名と多くの方が参加して下さいます。「野菜」「砂糖」「飲み物」「牛乳」「歯」等々、身近なテーマが中心です。

恒例になったクイズコーナーでは、回答を記入する皆さんの姿はかなり真剣で、挙手や発表も活発です。「牛乳でできているのは?とうふ?」「は~い!」

「???」思わぬ珍解答で苦笑い?→大笑い?する場面も(笑)やや緊張気味の管理栄養士の話を温かく聞いて下さる患者様に感謝し、益々がんばりたいと思っております。



外来診察のご案内

* 外来診察医師変更のお知らせ *

平成25年10月より外来診察医師の変更がありました。下記にてご確認ください。

* 受付時間は月曜日から土曜日の8時30分~11時30分です。

平成25年10月現在

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森	木村	森	森	高内	森
	前田	大村	高内	太田	木村	
	藤田	伊敷	谷川	前田	藤田	菊川
	谷川	太田	大村	津田	大西	大西
午後			森 〈物忘れ外来〉	堀野 〈思春期外来〉	大村	

広報誌(PDF)はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

今回で広報誌「七ころび八起き」が10回目を迎えます。これからも、広報誌を通して皆様に当院の取り組みを知っていただけたらと思います。

今後ともよろしく願いいたします。

冬眠計画中の広報担当より

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では2004年にISO9001
を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ①公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)